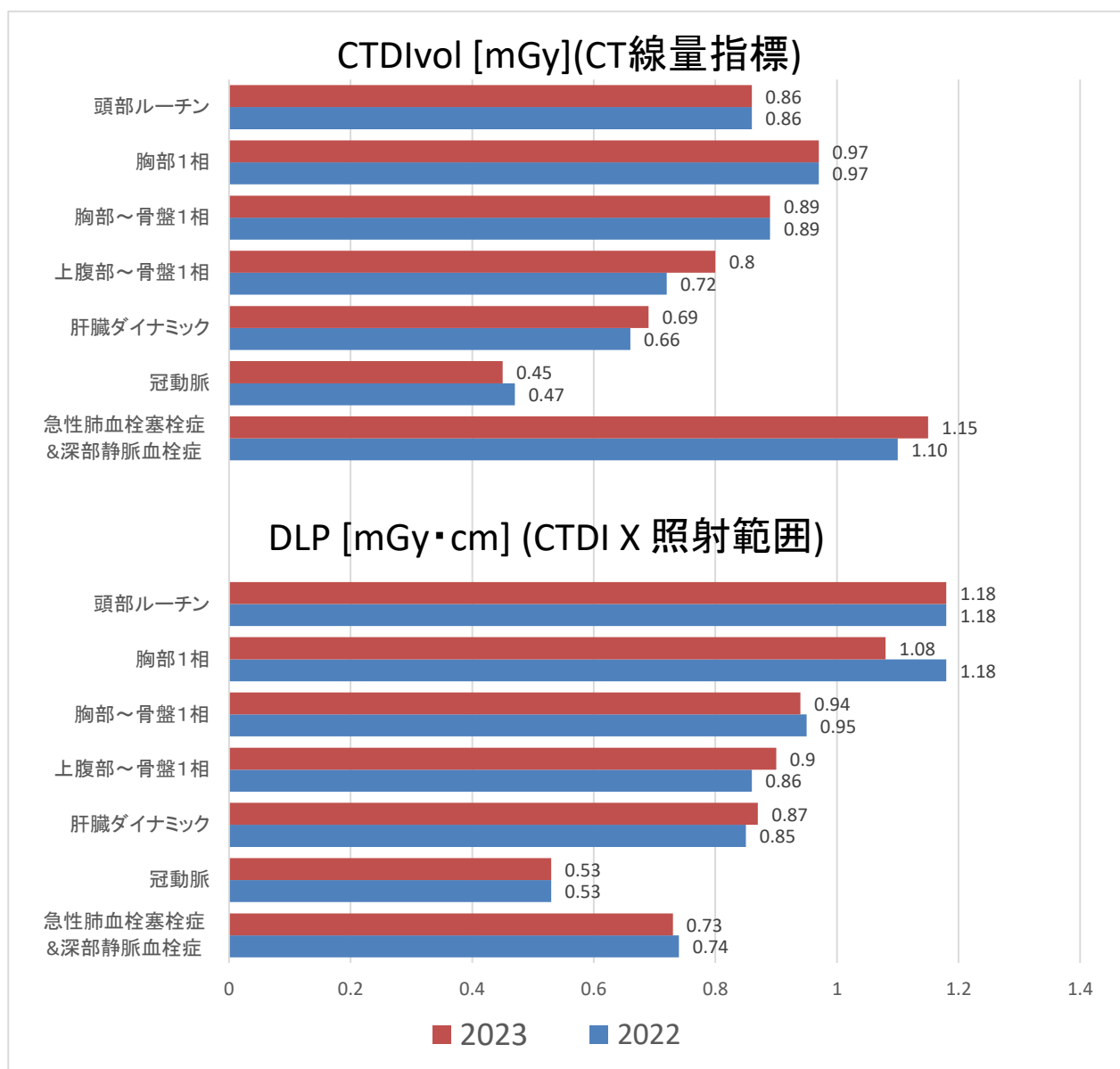


CT検査におけるDRL値と当院放射線量の比

DRL値（診断参考レベル）は放射線検査の内容毎に使用されている線量の国内調査結果から得られた線量水準です。DRL値と当院の放射線量の比を求めることは検査プロトコルの見直しの優先順位を決める目安となります。



当院値の定義・算出方法

分子： 当院において個別の検査時に使用した放射線量の中央値

分母： 検査プロトコル毎のDRL値

改善策について

前年度の結果を踏まえ1を超えるものについて線量・撮影範囲の改善を行なった結果、特に胸部においては低下したものの1を超えており、今後も最適化を行うべく被曝低減に取り組めます。

文責：放射線部
古賀 修